

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な実績①	事業実施後の状況②						メニュー③ (対象作物・畜種等名)③	成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率			計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
			振興品種の栽培面積の割合が48ポイント(19.35ha)増加した。	振興品種の栽培面積の割合が45ポイント(10.63ha)増加した。	振興品種の栽培面積の割合が89ポイント(30.28ha)増加した。	振興品種の栽培面積の割合が89ポイント(30.28ha)増加した。	振興品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加	振興品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加																					
静岡市 (平成20年度実施)	新丹谷地区柑橘植栽組合	【果樹】 ・全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合の増加	52% (9.35ha/ 18ha)	100.0% (26.6ha/ 26.6ha)	100.0% (26.6ha/ 26.6ha)	100.0% (28.7ha/ 28.7ha)	100% (18ha/ 18ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が48ポイント(19.35ha)増加した。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	208h/10a	134h/10a	117h/10a	126h/10a	144h/10a	128.1%	10a当たり労働時間は82時間低減した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	3,697,418	1,681,000				2,016,418	平成21年3月31日	平成20年度に改植が実施された園地(1.49ha)については優良品種が良好に管理され、全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合が48ポイント増加し、達成率は100%となっている。今後も担い手への農地集積を含め、良好に管理されていくことが望まれる。			
静岡市 (平成20年度実施)	蒲原町柑橘植栽組合	【果樹】 ・全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合の増加	55% (9.57ha/ 17.5ha)	71.5% (12.52ha/ 17.5ha)	93.7% (16.4ha/ 17.5ha)	100.0% (20.2ha/ 20.2ha)	100.0% (17.5ha/ 17.5ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が45ポイント(10.63ha)増加した。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	177h/10a	108h/10a	120h/10a	131h/10a	131h/10a	100.0%	10a当たり労働時間は46時間低減した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	4,726,384	2,334,000				2,392,384	平成21年3月31日	平成20年度に改植が実施された園地(3.07ha)については優良品種が良好に管理され、全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合が45ポイント増加し、達成率は100%となっている。今後も担い手への農地集積を含め、良好に管理されていくことが望まれる。			
静岡市 (平成20年度実施)	矢部地区柑橘植栽組合	【果樹】 ・全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合の増加	11% (3.62ha/ 33ha)	59.4% (19.6ha/ 33ha)	81.5% (26.9ha/ 33ha)	100.0% (33.9ha/ 33.9ha)	100.0% (17.5ha/ 17.5ha)	100.0%	振興品種の栽培面積の割合が89ポイント(30.28ha)増加した。	【果樹】 ・10a当たり労働時間の削減	263h/10a	147h/10a	79h/10a	88h/10a	144h/10a	147.0%	10a当たり労働時間は175時間低減した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	5,926,121	2,770,000				3,156,121	平成21年3月31日	平成20年度に改植が実施された園地(2.48ha)については優良品種が良好に管理され、全栽培面積のうち振興品種の栽培面積の割合が89ポイント増加し、達成率は100%となっている。今後も担い手への農地集積を含め、良好に管理されていくことが望まれる。			
牧之原市 (平成21年度実施)	上庄内原植栽組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・10a当たり労働時間を17%以上削減	110.9h/10a	27.4h/10a	34.8h/10	26.9h/10a	68h/10a	195.8%	10a当たり労働時間は84h/10a低減した。	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加	1a	29.6a	29.6a	29.6a	29.6a	100.0%	従来品種とは異なる高品質品種のあさつゆ、はるみどり、が、目標とする作付面積計画どおり(29.6a)に導入された。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	5,590,641	2,719,000				2,871,641	平成22年3月25日	基盤整備事業を実施した圃場へ植栽を行った。計画に沿った的確な事業実施により作業環境が向上した。計画的な肥培管理により、順調に茶樹が生育しており、期待した成果が得られている。	当該地区では、計画に基づき圃地の整備及び茶樹の植栽が行われたため、乗用型管理機の導入が可能となり労働時間の削減が図られた。今後は、品種を活用した高品質な荒茶の生産が期待される。		
牧之原市 (平成21年度実施)	涼松植栽組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・10a当たり労働時間を17%以上削減	110.9h/10a	15.6h/10a	17.3h/10a	11.1h/10a	68.0h/10a	232.6%	10a当たり労働時間は99.8h/10a低減した。	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加	98a	471.4a	471.4a	471.4a	471.4a	100.0%	事業が完了し、従来品種とは異なる高品質品種の作付面積が373.4a増加した。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	9,463,507	4,702,000				4,761,507	平成22年3月25日	基盤整備事業を実施した圃場へ植栽を行った。計画に沿った的確な事業実施により作業環境が向上した。計画的な肥培管理により、順調に茶樹が生育しており、期待した成果が得られている。早生品種については早期の摘採が可能となり、摘採など作業の集中が緩和されている。	当該地区では、計画に基づき圃地の整備及び茶樹の植栽が行われたため、乗用型管理機の導入が可能となり労働時間の削減が図られた。今後は、品種を活用した高品質な荒茶の生産が期待される。		

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
浜松市 (平成21年度実施)	杉茶園造成組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・10a当たり労働時間を17%以上削減	110.9h/10a	110.9h/10a	110.9h/10a	37.1h/10a	68.5h/10a	174.1%	10a当たり労働時間は73.8時間低減した。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・作付面積若しくは摘採面積の拡大により、生産数量又は販売金額を10%以上増加。ただし、新たに取組む場合にあっては、事業実施地区に占める生産数量又は作付面積の割合を5%以上確保	47,449kg	41,409kg	51,534kg	56,513kg	63,846kg	55.3%	生産数量は9,064kg増加したが、目標には届かなかった。	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	4,747,500	2,315,000			2,432,500	平成22年3月14日	茶園造成整備により乗用茶刈機の導入ができ、労働時間の削減がはかられた。 生葉の生産量は、既存の茶園面積が5.8a減少し、また、新たに造成した茶園は冬の寒さにより生育が遅れ、目標値を達成できなかった。	当該地区では、計画に基づき園地の整備が行われたことで、作業の機械化が行われ労働時間の削減が図られた。 一方で、生育の遅れにより生葉生産数量が目標達成に至らなかった。平成27年度には防霜ファンを整備しており、防霜対策など茶園管理の徹底により、生葉生産数量の増加が期待される。	
静岡市 (平成26年度実施)	マルカブ佐藤製茶株式会社	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・煎茶、CTC、碾茶の販売額を10%以上増加	9,174,628円	7,040,000円	48,604,000円	72,254,700円	48,055,421円	162.2%	CTC、碾茶の販売額は687.5% (63,080,072円)増加した。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・煎茶、CTC、碾茶の契約取引が占める割合を5ポイント以上増加	11.9% (1,095,000円/9,174,628円)	0	100%	100% (72,254,700円/72,254,700円)	100% (48,055,421円/48,055,421円)	100%	CTC、碾茶の契約取引が占める割合は、88.1ポイント増加した。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	390,744,000	180,900,000		72,360,000	137,484,000	平成27年3月26日	平成28年度は、煎茶、CTC及び碾茶の販売額が全体的に増加したことにより目標販売額を達成することができた。契約取引についても目標を達成できた。	施設整備により碾茶やCTCの生産が図られ、契約取引の増加、碾茶等販売額の増加に結びついている。今後も、継続して高品質な碾茶等の生産が期待される。	
島田市 (平成26年度実施)	吹木茶農業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・契約取引重量指数を直近値より7以上増加	43.2% (103,235kg/238,970kg)	47.10%	47.60%	85.1% (164,356kg/193,122kg)	78.9% (193,459kg/245,000kg)	117.3%	契約取引量は164,356kgとなり、契約取引の割合は41.9%増加した。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・仕向先多様化指数を直近値より2.5以上増加	37.1% (88,731kg/238,970kg)	38.10%	39.30%	71.3% (137,878kg/193,122kg)	77.5% (189,875kg/245,000kg)	84.60%	リーフ茶以外の製品への仕向量は137,878kg、多様化指数は34.2%増加したが、目標には届かなかった。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	74,358,000	34,425,000		39,933,000	平成27年3月16日	今後も契約茶商との連携を深め、契約販売の増加に努めている。 一方で、リーフ茶以外の製品への仕向けについては至っていないため、消費者ニーズに適合した茶製品への荒茶原料の生産に努めて、目標達成を図ることが期待される。			
島田市 (平成26年度実施)	湯日第一茶業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・契約取引重量指数を直近値より7以上増加	42.6% (179,803kg/422,074kg)	76.00%	83.40%	82.1% (333,731kg/406,368kg)	79.2% (360,360kg/455,000kg)	107.90%	契約取引量は333,731kgとなり、契約取引の割合は39.5%増加した。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 ・仕向先多様化指数を直近値より2.5以上増加	40.9% (172,771kg/422,074kg)	69.10%	71.00%	64.1% (260,663kg/406,368kg)	85.9% (391,000kg/455,000kg)	51.50%	リーフ茶以外の製品への仕向量は260,663kg、多様化指数は23.2%増加したが、目標には届かなかった。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	7,222,918	2,949,000		0	4,273,918	平成27年3月16日	他工場に先駆けてJGAPの認証を取得し、安心安全で良質な茶生産に努め、取引茶商との信頼関係ができてきている。取引茶商とリーフ茶以外の原料供給について検討し、生産計画を見直すことで、目標達成が期待できる。	施設整備により荒茶品質が安定し、契約取引の増加に結びついている。 一方で、リーフ茶以外の製品への仕向けについては至っていないため、消費者ニーズに適合した茶製品への荒茶原料の生産に努めて、目標達成を図ることが期待される。	

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				計画時 (平成19年) (平成20年) (平成25年)	7年後 7年後 6年後 1年後 (平成26年)	8年後 7年後 2年後 (平成27年)	9年後 8年後 3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
藤枝市 (平成26年度実施)	大井川農業協同組合	野菜 (トマト、ミニトマト) 【野菜】当該品目の秀品その他規格品(大きさ、外観品質、内部品質)の割合を3ポイント以上増加	41.2% (209.8t/ 509.2t)	26.5% (162.0t/ 610.8t)	36.6% (274.4t/ 750.1t)	51.4% (428.0t/ 831.9t)	53.7% (483t/ 900t)	81.6%	秀品率は10.2%向上したが目標には届かなかった。	畑作物・地域特産物(茶)	【野菜】当該品目の単位面積当たりの販売額を3%以上増加	6,664千円 /10a	6,543千円 /10a	6,833千円 /10a	7,071千円 /10a	7,912千円 /10a	32.6%	単位面積当たりの販売額は407千円/10a上昇したが、目標には届かなかった。	耕種作物共同利用施設整備 集出荷貯蔵施設	299,268,000	138,550,000			160,718,000	平成27年3月26日	生産農場が増加し、本件施設による処理数量は増加している。安定した稼働により産地に必要な施設となっている。成果目標こそ未達成であるが、事業効果は顕著に現れている。新農場の整備遅延、全国的なトマト相場の下落等が成果目標未達成の要因となった。しかし、現在は新農場も完成し、また、糖度基準引き上げによるブランド力の向上、需給予測精度の向上等、市場変動への対応の取組を今後も継続し、成果目標達成を図っていく。	遅れていた新農場の建設が終了し、平成29年度から出荷を始めている。これにより今後上位規格品割合、単位面積当たり売り上げのいずれも向上することが期待できる。	
牧之原市 (平成26年度実施)	勝間田茶農協同組合	畑作物・地域特産物(茶) 【畑作物・地域特産物(茶)】契約取引量指数を直近値より7以上増加	42.4% (23,000kg /54,296kg)	59.50%	69.80%	78.51% (109,400kg /139,331kg)	77.40% (91,860kg /118,682kg)	103.1%	契約取引量は109,400kgとなり、契約取引の割合は36.1%増加した。	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】仕向先多様化指数を直近値より25以上増加	35.0% (19,004kg /54,296kg)	53.60%	72.20%	80% (111,543kg /139,331kg)	80.00% (94,950kg /118,682kg)	100.00%	リーフ茶以外の製品への仕向量は111,543kg、多様化指数は45.0%増加した。	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	149,526,000	69,225,000		80,301,000	平成27年3月16日	昨今の茶価低迷の煽りを受け、販売に苦戦する茶工場が増加するなか、茶商の求める荒茶品質を確認し、計画的に荒茶生産ができた。整備した製茶機械によりH27年度から荒茶生産を開始し、台切番茶や秋冬番茶の生産により機械の稼働率を上げることができた。今後も茶商との連携を強化し、特色ある荒茶生産を行い、他工場との差別化により共同茶工場の運営の安定を図る。	施設整備により荒茶品質の安定と向上が図られ、契約取引の増加に結びついている。また、リーフ茶以外の製品への仕向けが進み、消費者ニーズに適合した茶製品への荒茶原料が行われている。今後も需要に応じた荒茶の生産が期待される。		
都道府県平均達成率	112.4%	総合所見	11事業中7事業については、目標を達成しており、十分な事業効果が得られた。 茶の優良品種系統等への改植・高接の1事業については、防霜対策等の茶園管理を徹底するなど、生産量の増加に向けた支援を行っていく。 茶の農産物加工処理施設の2事業については、消費者ニーズに対応した茶製品への荒茶原料の生産を行うよう支援を行っていく。 野菜の集出荷貯蔵施設の1事業については、新農場が完成したことで、今後上位規格品割合、単位面積当たり売り上げの向上につながり、目標達成に近づいたことから、確実に目標を達成するため引き続き支援を行っていく。																									

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。